

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

# Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ  
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室  
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288  
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp  
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山  
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

## 理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事)	高橋 茂樹
副会長(理事)	橋田 歳行
幹事(理事)	牧本 太郎
副幹事	堀安 洋
会計	川原 孝
S.A.A.(理事)	田吉 穰
副S.A.A.	波難 人那

会員増強・退会防止(理事)	中 山 賢太郎
広報(理事)	宮 井 宏
奉仕プロジェクト(理事)	永 山 雅幸
ロータリー財団(理事)	馬 場 幸三
親睦活動	正 保 宏景
プログラム	廣 野 達
直前会長	高 岸 本
次期会長	高 島 浩

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



### きょうのプログラム

「岡山北RC・総社RC・岡山北西RC  
合同花見夜間例会 (岡山城)」

### 次回4月1日のプログラム

「スポーツまちづくりの最先端」  
岡山大学学術研究院 教育学域 准教授  
SPORTS DRIVE LLC 社長 高岡 敦史様

## 4月のお祝い行事

会員誕生日：青木、浜田、永山、双田、杉本、  
高橋、滝沢、山本(宣)君  
結婚記念日：皆木君

## 前回3月18日の例会記録

### 出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)  
出席者数 29名  
欠席者数 24名  
出席率 54.72%



米山奨学生ブン君に奨学金を

## スケジュール

### 4月 環境月間

1日(火)	12:30~例会
	13:40~第10回理事役員会
8日(火)	12:30~例会
15日(火)	12:30~例会
22日(火)	12:30~例会：地区研修・協議会の報告①
29日(火)	例会取消し (定款第7条第1節)

### 5月 青少年奉仕月間

6日(火)	例会取消し (定款第7条第1節)
13日(火)	12:30~例会：地区研修・協議会の報告②
	13:40~第11回理事役員会
20日(火)	12:30~例会
27日(火)	19:00~会場移動夜間例会

## 会長挨拶



皆さん、こんにちは。

まずは、15日土曜日のIM、体調不良で欠席してしまい失礼しました。牧本幹事が頑張ってくれたことと思います。

そして今日は、PETSの報告となります。来期の地区の方向性が聞けるといいます。最近、会員の減少を食い止める対策、そして単年度制の弊害等が地区の方向性になりつつあるのかなと思っています。PETSの報告をよく聞いていただき、RIそして地区の方向性を理解してクラブ運営に協力していただきたいと思っています。

その一つに、2026年度大規模プログラム補助金があります。クラブ又は地区でのプログラムの成果が実証され、3～5年間のプログラムに拡大する準備ができている場合に申請ができます。我々も研究の余地があると思っています。

そして、今期も残り少なくなっていますがまだまだ事業があります。

今月25日には、総社RCさんと岡山北西RCさんとの3RC合同の夜間例会が初めて行われます。岡山北がホストになっています。場所も岡山城ですので楽しみに参加していただきたいと思っています。

4月6日日曜日には、春のオールロータリアンテニス大会が行われます。参加は私一人のようですが、岡山北を代表してがんばってまいります。

4月26日土曜日は、新天地育児院での奉仕事業が開催されます。

5月30日金曜日は、6RCの懇親会が開催されます。これも岡山北がホストです。

日程は決まっていますが、5月末に親睦旅行を開催したいと思っています。ご家族で参加していただければ幸いです。

最後に、6月21日～25日までRIの世界大会がカナダで開始されます。私も流石に参加しませんが、また近隣で開始される場合は皆で参加したいなと思っています。

## 幹事報告

1. 3月15日開催の「第2回IDM・懇親会」にご出席いただいた皆様、ありがとうございます。
2. 本日例会終了後13:40より3F「パールの間」において「第2回被選理事役員会」が開催されますので、次年度理事役員の皆様よろしく願いいたします。
3. 次回の例会は3/25（火）岡山城天守閣で総社RC・岡山北西RCとの会場移動夜間例会でございます。ご出席の皆様はお間違えの無いようお願いいたします。
4. 4月の例会の出欠確認表を回覧させていただきます。お手数をお掛け致しますが回答欄にご回答くださいますようお願いいたします。
5. ロータリーの友3月号を配付しております。
6. ハイライトよねやま Vol.300、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告



出席報告

## S. A. A.

高橋君：今日はPETSの報告楽しみにしています。

今日は、臨時総会です。よろしく願い致します。

牧本君：高島次期会長、PETSの報告よろしく願います。

堀川君：誕生日のプレゼントありがとうございます。今年もよい年となりそうです。

高島君：今日はPETSの報告をさせていただきます。

伊藤君：結婚記念日のお祝いありがとうございます。本日は。3/18

磯島(慈)君：お誕生日のお祝いありがとうございます。

牧本幹事、IDMの講演ありがとうございます。

渡辺君：3/15(土)第2回IDMに参加させていただきました。予定外のこともあったようですが、色々学びを得ました。安原パスト会長、高島次期会長、牧本幹事他、準備をいただいた皆さん、ありがとうございます。

3/10(月)に米山奨学生ブンくんが、ベトナムの里帰りから、日本へ無事戻ってまいりました。また、みやげ話をたくさん聞かせて下さい。

吉田君：寒暖差のはげしい季節です。体調管理には気をつけて下さい。最近、当院のスタッフが必ず1名以上がカゼ、嘔吐下痢等で欠勤しております。会長の体調も…

## 委員会・活動報告



雑誌委員会 委員長 角南 真一 会員

「ロータリーの友3月号」の紹介

### 【第2回IDMを開催】

3月15日、高田屋駅前店で第2回IDMが開催され、会員12名が参加しました。

牧本幹事から、北ロータリークラブの設立時の様子や取り組まれてきた社会奉仕事業について、周年記念誌の記録などを元に紹介されました。

二次会も多数の参加があり大いに懇親を深めました。

(宮井 記)



二次会で交流を

## 臨時年次総会



S.A.A.の皆木会員の一身上の都合による辞退と、新たな交代のS.A.A.として、三宅会員の選挙が行われ可決されました。

# PETSの報告

高 島 浩 会員



PETS は、President-Elect Training Seminar（会長エレクト研修セミナー）の略です。

3月8日土曜日・9日日曜日、米子で開催されました会長エレクト研修セミナー（PETS）に参加してまいりましたので、その内容についてご報告させていただきます。

このPETSですが、来年以降PETSではなくなるそうです。

次回からはPELS（President-Elect Leadership Seminar（会長エレクトリーダーシップセミナー）もしくはlearning（学ぶ・習う・学ぶこと）となるそうです。

この研修に参加して感じたことはRI（国際ロータリー）も地区も変わろうとしている、変わらなければならないことを切々と感じましたので冒頭にお話しさせていただきました。

研修の概要は、次年度の地区ガバナーである坂口元昭エレクトの主催のもと、二日間にわたり開催されました。

セミナーでは、2025-2026年度の国際ロータリー会長メッセージ、地区の重点目標、そしてロータリーの未来について学んできましたので報告させていただきます。

研修の内容は非常に濃密かつ幅広いので要約してお話しさせていただきます。

## ロータリーの目的と行動規範

まず、改めてロータリーの目的について確認しました。

それは、

1. 知り合いを広げ、奉仕の機会とすること
2. 職業倫理を高め、社会に奉仕すること
3. 個人としても、奉仕の理念を実践すること
4. 国際理解、親善、平和を推進すること

※これはロータリー手帳の裏表紙に詳しく書かれています

そして、ロータリアンとしての行動規範である

「四つのテスト」を常に念頭に置き、日々の活動に取り組むことの重要性を再認識しました。

※この四つのテストについてもロータリー手帳の同じ箇所にも書かれています

## 2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ

2025-26年度の国際ロータリー会長であるマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」というメッセージを掲げています。

※「テーマ」から「メッセージ」へ

これまでRI会長は毎年「テーマ」を掲げ、それに沿って地区ガバナーが方針を決定していました。

しかし今年は「テーマ」ではなく「メッセージ」として発信され、それを地区の活動に取り込む形で事業をすすめていくこととなります。

RI会長は、ロータリーの最大の財産は会員であり、会員増強こそがロータリーの未来を確かなものにする

と強調しました。会員増強と活性化のためには、

### 1. 革新 (Innovation)

「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。」

### 2. 継続性 (Continuity)

「継続性とは、画一性ではなく連携である。地区リーダー同士が連携し、年度を超えてロータリーの未来を見据えることで、長期的な成功の基盤が築かれる」

### 3. パートナーシップ (Partnership)

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。良いことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。」

の3つの柱が不可欠であると訴えました。

一つはマリオRI会長自身のビデオメッセージを和訳したもの（P2～P5）

二つ目は2月9日から5日間にわたりアメリカフロリダ州オーランドで開催された2025年度国際協議会へ参加された坂口ガバナーエレクトご自身のメッセージとしてです。（P6～

- 革新：変化する世界に適応するため、若い世代や多様な背景を持つ人々を積極的に迎え入れる
- 継続性：地区のリーダーシップの一貫性を保ち、長期的な視点でロータリーの未来を考える
- パートナーシップ：外部の団体との連携を強化し、ロータリーの奉仕の幅を広げる

### 【地区の重点目標】

今回の研修では、地区の重点目標も提示されました。

1. クラブ優秀賞の達成
2. インパクトのある青少年奉仕活動の実践
3. 公共イメージの向上（EndPolioとPolioDay）
4. 会員増強：各クラブ純増1名以上
5. ロータリー財団への支援（年次基金への寄付一人150ドル・ポリオプラスへの寄付一人30ドル）
6. 米山記念奨学会への支援（普通寄付特別寄付5,000円／人10,000円／人）
7. ロータリーカードの加入促進
8. 地区大会への参加（2026年の地区大会は10月に米子で開催されます）
9. 2026年国際大会への参加（2026年のロータリー国際大会は、台湾の台北で6月13日から17日に開催されます。）

一日目はセッション①②の講演を拝聴して、PETS懇親会&松本パストガバナー2025年規定審議会ご出席壮行会（懇親会）が行われて円卓を囲んで和やかな会食を楽しみ、また米子南ロータリークラブの皆様が段取りして下さった素敵なお店で2次会へ参加して岡山県内ロータリークラブの同期会長との親睦をはかることができ楽しいひとときでした。

さて、本会議2日目は、セッション③④⑤⑥P11～講演を経てグループディスカッション研修でした。

「インパクトのある青少年奉仕活動」をテーマにグループディスカッションを行いました。活発な意見交換を通じて、青少年の育成と地域社会への貢献につながる、より効果的な奉仕活動のあり方を模索しました。

研修を終えて今回のPETSを通じて、ロータリーの原点に立ち返り、次年度の会長として、クラブの活性化と地域社会への貢献のために、具体的に何をすべきかを深く考える良い機会となりました。

特に、国際ロータリー会長が提唱する「革新」「継続性」「パートナーシップ」の3つの柱を意識し、会員増強と魅力あるクラブづくりに尽力していく所存です。

具体的には、

- 例会の内容を充実させ、会員同士の交流を深める
- 地域社会のニーズに応じた奉仕プロジェクトを企画・実行する
- 若い世代や女性など、多様な人材の入会を促進する
- 他の団体との連携を強化し、奉仕の輪を広げる

これらの活動を通じて、岡山北ロータリークラブが、地域社会にとってなくてはならない存在となれるよう、会員の皆様と力を合わせて頑張りたいと思います。結び最後になりますが、今回のPETSで得た学びを活かし、皆様と共にロータリー活動を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

### 会長メッセージの3つの柱、どれが重要？

会長メッセージの3つの柱である「革新」「継続性」「パートナーシップ」は、どれか一つが突出して重要というわけではなく、相互に連携し、バランスを取りながら実践していくことが重要です。

あえて優先順位をつけるなら、まずは「革新」から取り組むのが良いかもしれません。

なぜなら、社会の変化に対応し、新しい会員層を取り込むためには、従来のやり方にとらわれず、柔軟な発想でクラブ運営や奉仕活動を見直す必要があるからです。

しかし、「革新」だけでは、クラブの伝統や実績が失われてしまう可能性があります。

そこで、「継続性」を意識し、過去の成功事例や会員のつながりを大切にしながら、新しい取り組みを導入していく必要があります。そして、「革新」と「継続性」を両立させるためには、「パートナーシップ」が不可欠です。

外部の団体や地域社会との連携を強化することで、新たな視点や資源を取り入れることができ、より効果的な奉仕活動を展開することができます。つまり、「革新」によって変化への対応力を高め、「継続性」によってクラブの基盤を安定させ、「パートナーシップ」によって活動の幅を広げるというように、3つの柱は相互に補完し合いながら、ロータリークラブの成長を支えていくものと考えられます。

## 会員増強、具体的にどう取り組む？

会員増強、具体的にどう取り組むか、ですね。いくつか具体的なアイデアを提案させていただきます。

### 1. クラブの魅力进行明確化し、発信する

- 自クラブの強みを見つける：他のクラブにはない、岡山北ロータリークラブならではの魅力を洗い出す。例会での講演内容、奉仕プロジェクトの内容、会員同士の雰囲気など、様々な角度から検討する
- ウェブサイトやSNSを活用：クラブの活動内容や魅力を積極的に発信する  
写真や動画を多用し、親しみやすい言葉で情報を伝える
- 広報資料の作成：クラブの紹介資料を作成し、地域のお店や企業に置いてもらうのも効果的だと思います

### 2. 入会しやすい環境を整備する

- 入会資格の見直し：年齢、職業、性別など、入会資格を柔軟に見直すことで、より多くの人に門戸を開く
- 入会説明会の開催：ロータリーの理念やクラブの活動内容を分かりやすく説明する入会説明会を開催する
- 体験入会の実施：興味のある人に例会や奉仕プロジェクトを体験してもらい、クラブの雰囲気を実際に感じてもらう
- オンライン例会の導入：忙しい人でも参加しやすいように、オンライン例会を導入する
- 会費の支払い方法の多様化：クレジットカードや口座振替など、会費の支払い方法を多様化することで、会員の負担を軽減する

### 3. 会員主導の勧誘活動を展開する

- 会員一人ひとりがアンバサダー：会員一人ひとりが、友人、知人、同僚などにロータリーの魅力を伝える
- 勧誘キャンペーンの実施：会員増強を目標とした勧誘キャンペーンを実施し、目標達成に向けて会員全体で意識を高める
- 紹介者へのインセンティブ：新しい会員を紹介してくれた会員に、何らかのインセンティブ（例：例会費の割引、感謝状の贈呈）を設けるのも効果的なのかも？

### 4. 若手会員や女性会員の活躍を支援する

- 若手会員の意見を尊重：若手会員の意見を積極的に聞き入れ、クラブ運営や奉仕プロジェクトに反映させる
- 女性会員のリーダーシップを育成：女性会員がリーダーシップを発揮できる機会を積極的に提供する
- メンター制度の導入：若手会員や女性会員に対して、経験豊富な会員がメンターとなり、サポートする制度を導入する

### 5. 他のクラブとの交流を深める

- 合同例会の開催：他のクラブと合同で例会を開催し、会員同士の交流を深める
- 合同奉仕プロジェクトの実施：他のクラブと合同で奉仕プロジェクトを実施し、活動の幅を広げる。その他
- 退会理由の分析：退会者の理由を分析し、クラブ運営の改善に役立てる
- クラブの雰囲気を良くする：会員同士が互いを尊重し、協力し合える、温かい雰囲気のクラブを目指す。  
岡山北ロータリークラブに合った会員増強戦略がどのようなものが良いか検討する。

理事役員会員の皆様と協力し、活気あふれるクラブを作り上げていきたいと思ひます。